

卒業生が無料で参加できる研修会のお知らせ

「胃瘻なんかに頼らないで安らかに生きて死んでいく」

担当講師：西口守（東京家政学院大学）

ゲスト講師：特別養護老人ホーム好日苑のスタッフの方

日時：2011年6月24日（金）16：20～17:45

場所：東京家政学院大学町田キャンパス

申し込み：以下のアドレスにメールで申し込んでください。

mamoru@kasei-gakuin.ac.jp

（概要）

この特別授業では、チューブになよらない高齢末期のターミナルケアを実践されている施設の方をお招きします。認知症の末期では、飲み込みが悪くなり、そこから誤嚥が始まり、嚥下性肺炎を繰り返し、最後は鼻腔または胃瘻増設をさせられて、死んでいくというある種の当たり前のコースがありますね。でもこれって本当に幸せでしょうか。正直、私には耐えられない。大好きな寿司や焼き鳥や、そして酒を口から食べられなくなっても生かされるのは、介護者の都合以外何ものでもないように思いませんか？そんななか、大田区にある特養の好日苑が、胃瘻に頼らないターミナルケアを実践しています。食事も最後まで口から、をめざし、食事そのものをうまくコントロールしながら、安らかに施設で家族に見守られて死んでいく支援を行っています。この報告は、2010年度の東京都高齢者福祉施設研究発表大会アクティブ福祉2010で、東京都福祉保健局長賞を受賞しています。そんな事例を伺いながら、我々にとっても他人ごとではない、死とその過程（death and dying）について、リアルに学びませんか。終了後、報告者との交流会も企画していますのでどうぞお越しください。